



NO.020

FAS通信

平成16年12月号
株式会社福地建装

上磯町中野通321番地
TEL0138-73-5558

家は長持ちしたら困る・・・

『75年から90年も長持ちするような家を建てたら、この業界はやっていけないんだ。だから25~26年で建て替える家造りをすればいいんだ。』と言う人がいます。確かに業界の裏側の本音なのかもしれません。ハウスメーカー・ビルダー・工務店の数はあまり減っていないのに、住宅建築は年々減り続け、2003年で60万戸建てていたものが、2010年には30万戸台まで落ち込んでしまうとされており、景気の低迷・少子高齢化・終身雇用の崩壊・年金問題など、不安なことが次々と取り沙汰されているのですから、業界内部で心無い発言がでてくるのも分からない訳ではありません。しかし、25~26年（建設省・現国土交通省発行の建設白書平成8年度版より、日本の住宅の平均寿命はたったの26年。ちなみにイギリスは75年です）で家が住みづらくなるとすると、消費者は非常に困ります。現在のローンでは長いもので、35年というものもあります。例えば40歳で家を建て、35年のローンを組んだとします。25年で建て替えが必要な家を建てたとするならば、65歳で建て直し、しかも、残債の10年分のローンは残ってしまうのです。勤め人の退職年齢は平均60歳くらい、退職金もあてにならない、年金も支給開始時期が引き上げられ、昭和36年4月2日以降に生まれた男性からは、65歳になるまで原則として年金がもらえなくなってしまったのです。こんな大きなリスクがあり、家は長く持つては困るということを言われたのでは、泣きっ面にハチです。売らんがための家づくりをしている業者は、長く持つてもデザインや使い勝手が、30年先になったら大きく変わりますから、少しでも安い金額で立てて、30年くらいで建て替えたほうが得ですよというトークで迫ってくるのです。しかし、平均寿命も延び、男性78.4歳・女性85.3歳（平成15年）という人生80年時代となった今、

家も寿命を延ばして、100年とはいませんが、50年以上耐えてくれる家でなくてはならないのです。50年経っても、構造体がしっかりしていて、木材が朽ちていない家ならば、ちょっと補修費用をかけるくらいで次の時代に引き継ぐことができるのです。ファース本部が、加盟店様に年間6棟受注、7棟目は来年まで待っていただくような家造りを勧めるのは、しっかりとした品質と環境に対応した性能を語れる家造りをすることにより、地元のお客様と次の世代に移っても信頼関係で結ばれます。そうすれば、リフォームや補修などのお仕事を受けることができ、安定した工務店経営にもなると考えるのです。これからの家造りは、木のぬくもりや、自然素材へのこだわりは当たり前前の時代となり、雰囲気の家を語るだけではないのです。きちんとした、科学と性能の裏付けがなくては、販売してはいけないとさえ感じております。ファース本部が取得した、各種認定・評定を再度見てください。貴方の近くの工務店さんは、科学的な根拠をもっているでしょうか・・・『住む人と幸せをわかちあう家づくり』これがファース本部の理念です。

幸の知恵袋

～頑固な油汚れは重曹で～

そろそろ、大掃除のシーズン！掃除で一番大変なのが台所にこびりついた油汚れの掃除じゃないかな。油汚れって、専用の洗剤を使わないとなかなか落ちないよね。でも、専用の洗剤を使うとどうしても手が荒れてしまうし...

そんな時イイのが重曹なんだ。重曹を油汚れのヒドイ換気扇などに直接振りかけてスポンジで磨くと驚くほど綺麗になるんだよ。もしそれでも取れないような頑固な油汚れには、重曹をお酢で溶いたものを使うとイイよ。重曹は、油汚れを取るだけじゃなくって、脱臭の効果もあるんだ。それにお酢を使うことによって殺菌効果もあるんだよ。

掃除用の重曹は、スーパーやホームセンターで安く売っているよ。

